

国内標準委員会 令和 6 年度下期報告

1. 委員会構成及び活動概要：

委員会構成は、委員長 高橋 弘 先生（東北大学大学院教授）、中立者 6 名(委員長含む)、生産者 5 名、使用者 5 名、関係者 1 名、事務局 3 名の計 20 名。

令和 6 年度は JIS 原案作成（新規制定 3 件，追補改正 4 件）及び JCMAS 発行（改正 3 件）に取り組んだ。分科会は Web 会議で開催し、国内標準委員会(本委員会)の審議は書面審議で対応した。令和 6 年度の活動概要及び来年度計画は次の通り。

2. JIS 原案作成関連：

- 1) JIS 原案作成は、日本規格協会（以下「JSA」）の JIS 原案作成公募事業に応募し、国内標準委員会を中心に専門家による分科会を開催して実施した。令和 6 年度は、主に JIS A 8341 シリーズ（ISO 19014 シリーズの「機能安全」を基に作成）の JIS 原案の審議を行った。

【新規制定】

- JIS A 8341-2 土工機械－機能安全－第 2 部：

（機械制御系の安全関連部のハードウェア及び構成の設計及び評価）

については、昨年 4 月～6 月に分科会(6 回)を開催して原案作成し、8 月に成果物を JSA へ提出した。（今年 3 月に発行の見込み）

- JIS A 8341-3 土工機械－機能安全－第 3 部：

（制御システムの安全関連部に使用される電子及び電気構成部品の環境性能及び試験要求事項）

については、8 月に分科会を開催して原案作成し、10 月に成果物を JSA へ提出した。

- JIS A 8341-4 土工機械－機能安全－第 4 部：

（制御システムの安全関連部のためのソフトウェア及びデータ通信の設計及び評価）

については、昨年 12 月～今年 2 月に分科会を 8 回開催し原案を進めた。（4 月に成果物を JSA へ提出の予定）

【追補改正】

- JIS A 8508-6 道路工事機械－安全－第 6 部：アスファルトフィニッシャの要求事項

- JIS A 8508-7 道路工事機械－安全－第 7 部：アスファルトディストリビュータ及びアスファルトスプレーヤの要求事項

については、路盤・舗装機械技術委員会から追補改正の要望があり、7 月に成果物を JSA へ提出した。（今年 2 月下旬発行予定）

- JIS A 8310-1 土工機械－操縦装置及び表示用図記号－第 1 部：共通図記号

- JIS A 8310-2 土工機械－操縦装置及び表示用図記号－第 2 部：特定機種，作業装置及び附属品図記号
については、最新の ISO に合わせた追補改正で、原案を作成し書面審議を経て今年 2 月に成果物を JSA へ提出した。

2) 令和 6 年度に発行された JIS（2 件）：

昨年度に作成した次の JIS が昨年 8 月に発行された。

- JIS A 8308 土工機械－基本機種－識別及び用語（改正）

- JIS A 8423-1 土工機械－グレーダー第 1 部：用語及び仕様項目（改正）

3) 令和 7 年度の JIS 原案作成の計画：

- 継続中の JIS A 8341-4 土工機械－機能安全－第 4 部の原案を完成し、4 月に成果物を JSA へ提出する。
 - 2025 年度区分 B（原案作成期間 2025.7.1～2026.2.28）で応募した下記 2 件の原案を作成する。
 - JIS A 8330-5 土工機械－運転室内環境－第 5 部：前面窓ガラスデフロスタ試験方法（改正）
 - JIS A 8339 土工機械－クイックヒッチ（クイックカプラ）－安全性（追補改正）
- （この他に 2025 年度区分 C 及び D についても応募案件を検討する。）

3. 団体規格 JCMAS 関連：

当協会の団体規格 JCMAS(下記 3 件)について、油脂技術委員会から改正の提案があり、JSA 経由で WTO/TBT 通報、意見公告などの発行手続きを進めた。

- JCMAS P 041 建設機械用油圧作動油（改正）（昨年 7 月発行）
- JCMAS P 040 建設機械用グリース（改正）（昨年 9 月発行）
- JCMAS P 044 建設機械用油圧作動油－高圧ピストンポンプ試験による潤滑性評価方法（4 月発行予定）

以上